

15 高熱火災  
Super-High-Temperature Fire

### 高熱火災

高熱火災による被害は、広島・長崎の両市に及ぼされた。原子爆弾の落下後、爆風と放射能の二重の被害を受けた都市は、瞬時に灰燼の海に変わってしまった。焼け焦げた瓦礫の山が、市民の生活を寸断した。高熱火災による被害は、広島・長崎の両市に及ぼされた。原子爆弾の落下後、爆風と放射能の二重の被害を受けた都市は、瞬時に灰燼の海に変わってしまった。焼け焦げた瓦礫の山が、市民の生活を寸断した。高熱火災による被害は、広島・長崎の両市に及ぼされた。原子爆弾の落下後、爆風と放射能の二重の被害を受けた都市は、瞬時に灰燼の海に変わってしまった。焼け焦げた瓦礫の山が、市民の生活を寸断した。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

16 人体が受けた影響 (急性障害)  
Damage to Human Bodies (Acute Injuries)

### 人体が受けた影響 急性障害

爆風によって人体が受けた影響は、急性障害と慢性障害の二つに大別することができます。急性障害は、爆風による直接的な被害によるもので、爆風による衝撃、放射能による放射線障害などが原因で発生します。急性障害は、爆風による直接的な被害によるもので、爆風による衝撃、放射能による放射線障害などが原因で発生します。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

17

### 急性障害

爆風による急性障害は、爆風による直接的な被害によるもので、爆風による衝撃、放射能による放射線障害などが原因で発生します。急性障害は、爆風による直接的な被害によるもので、爆風による衝撃、放射能による放射線障害などが原因で発生します。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

18 (後障害 / Aftershocks)

### 後障害

急性障害は、爆風による直接的な被害によるもので、爆風による衝撃、放射能による放射線障害などが原因で発生します。後障害は、急性障害の後に発生するもので、放射能による放射線障害などが原因で発生します。後障害は、急性障害の後に発生するもので、放射能による放射線障害などが原因で発生します。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

19 サダコ (ある少女の死)  
Sadako (A Young Girl's Death)

### サダコ ある少女の死

1945年8月6日、広島に原子爆弾が落とされた。その翌年、9歳の少女サダコは、白血病を発症した。サダコは、白血病と診断された後、数回手術を受けたが、病状は悪化を続けた。サダコは、白血病と診断された後、数回手術を受けたが、病状は悪化を続けた。サダコは、白血病と診断された後、数回手術を受けたが、病状は悪化を続けた。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

20 きのご雲の下には…  
Under the Mushroom Cloud

### きのご雲の下には…

原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

21 廃墟からの復活 (立ち上がる市民)  
Revival from Ruins (Getting Back on their Feet)

### 廃墟からの復活 立ち上がる市民

原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

22 (街の再生 / Reviving the Cities)

### 街の再生

原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

23 (海外からの支援 / Help from Abroad)

### 海外からの支援

原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。原子爆弾の落下後、広島と長崎は壊滅的な被害を受けた。多くの市民が死傷し、多くの建物が壊滅した。

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

24 (復興/Recovery)

**復興**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

25 現在の広島市・長崎市  
Hiroshima and Nagasaki Today

**現在の広島市・長崎市**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

26 核兵器はいま  
Nuclear Weapons Now

**核兵器はいま**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

核兵器のない平和な世界へ  
Toward a Peaceful World Free  
From Nuclear Weapons

**核兵器のない平和な世界へ**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

28 20世紀・負の遺産  
20th Century-Negative  
Heritage

**20世紀・負の遺産**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

29 遺品は語る  
Material Witnesses

**遺品は語る**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

惨禍を伝える歴史の証人  
Witnesses to History Conveying  
the Tragedy

**惨禍を伝える歴史の証人**

**HIROSHIMA & NAGASAKI**

**申し込み先**

広島平和記念資料館 啓発担当  
〒730-0811 広島市中区中島町1-2  
受付専用電話 (082) 541-5544

**問い合わせ先**

広島平和記念資料館 啓発担当 (082) 541-5544  
<<http://www.pcf.city.hiroshima.jp>>  
長崎市平和推進室 (095) 844-9923  
<[http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/abm\\_e/index.html](http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/abm_e/index.html)>

**Contact Address**

Information Services Division  
HIROSHIMA PEACE MEMORIAL MUSEUM  
1-2 Nakajima-cho, Naka-ku, Hiroshima, 730-0811, Japan  
Fax : +81 82 247 2464  
Email: [hpcf@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:hpcf@pcf.city.hiroshima.jp)

2. 「サダコと折り鶴ポスター」

# サダコと折り鶴ポスター

## Sadako and Paper Cranes Poster

このポスターは、小・中学生、高校生など若い世代に、原爆被害の実相と平和の大切さを伝えるため、被爆による白血病で亡くなった佐々木禎子さんの一生を中心に、戦時下の子どもたちの生活、原爆の犠牲となった多くの子どもたちのことなどを、分かり易く説明したものです。

ポスター（日本語版・英語版）の貸出を行っていますので、学校での平和学習、広島平和記念資料館への来館に際しての事前学習、また、地域での平和展などに大にご活用ください。

These posters explain the realities of the atomic bombing and the importance of peace to the younger generations, including those in elementary, junior high and high schools, in a way that is easy for them to understand. The posters outline the lives of many children who suffered the consequences of war and the dropping of the atomic bomb, including the life of Sadako Sasaki, who died of A-bomb-induced leukemia.

Both the English and the Japanese versions of the posters are available for loan, for use in school for peace education, preparatory study prior to the visit to the Hiroshima Peace Memorial Museum, as well as for peace exhibit in the local community.



**駆け抜けた12年の生涯**  
A Life that Raced by in 12 Years

禎子さんの誕生から亡くなるまでの生涯を、原爆被害の実相を織りまぜながら説明しています。  
The posters recall the life of Sadako from the time of her birth to death, with the realities of the damages caused by the atomic bomb woven into the narrative.



A young girl of Hiroshima



The Atomic Bombing



5

### 平和な日々

戦争が始まる前、平和な日々を過ごしていた子どもたちの写真が並べられています。中には、制服を着た少女の大きな写真が目を引きます。





Days of Peace

6

### 行けなかった中学校

戦争の影響で中学校に行けなかった子どもたちの写真と、当時の学校の写真が掲載されています。






Never entered junior high school

7

### 願いをこめた折り鶴

戦争中折り鶴を折った子どもたちの写真と、折り鶴の写真を掲載しています。





Paper cranes folded with hope

**子どもたちの被害**  
Harm to Children

子どもたちの被害に焦点を当て、その当時の状況を、写真や遺影、遺品などを用いて説明しています。  
Using the photos, images of those who have passed on and their belongings, the posters focus on the damages done to the children to outline the condition during the war and after the dropping of the atomic bomb.

8

### きのこ雲の下で子どもたちは

戦争の影響で被害を受けた子どもたちの写真が並べられています。



**ピカドン**

戦争の影響で被害を受けた子どもたちの写真が並べられています。



Children under the mushroom cloud

9

戦争の影響で被害を受けた子どもたちの写真と、当時の状況の写真が掲載されています。






10

戦争の影響で被害を受けた子どもたちの写真と、遺品の写真を掲載しています。








11

戦争の影響で被害を受けた子どもたちの写真と、当時の状況の写真が掲載されています。





**私の中の禎子さん**  
Sadako in me

両親、先生、同級生など、禎子さんを取りまく人々による等身大の禎子さんのエピソードを紹介しています。  
The posters include some of the personal episodes about Sadako told by her parents, teachers, classmates and those who were close to her.

12

**楽しい学校生活**

楽しい学校生活

1945年、広島市立小坂小学校の児童会役員として、活動していた禎子さんは、この頃、同級生と遊んでいました。

この頃、禎子さんは、同級生と遊んでいました。そして、先生から、お礼状を書かされたこともありました。

この頃、禎子さんは、同級生と遊んでいました。そして、先生から、お礼状を書かされたこともありました。

この頃、禎子さんは、同級生と遊んでいました。そして、先生から、お礼状を書かされたこともありました。

Enjoying herself at school

13

**入院一生まれて初めての晴れ着**

入院一生まれて初めての晴れ着

入院一生まれて初めての晴れ着

入院一生まれて初めての晴れ着

入院一生まれて初めての晴れ着

Receiving her first dress-up kimono as she enters the hospital

14

**「おたよりちょうだい」佐々木禎子**

「おたよりちょうだい」佐々木禎子

「おたよりちょうだい」佐々木禎子

「おたよりちょうだい」佐々木禎子

「おたよりちょうだい」佐々木禎子

Send me a letter Sadako Sasaki

15

**「死」と向き合う**

「死」と向き合う

「死」と向き合う

「死」と向き合う

「死」と向き合う

Facing Death

16

**折り鶴にたくした思い**

折り鶴にたくした思い

折り鶴にたくした思い

折り鶴にたくした思い

折り鶴にたくした思い

Hopes entrusted to paper cranes

17

**すべては彼女を喜ばせるために**

すべては彼女を喜ばせるために

すべては彼女を喜ばせるために

すべては彼女を喜ばせるために

すべては彼女を喜ばせるために

Anything to make her happy

18

**「ありがとう」という言葉を残して**

「ありがとう」という言葉を残して

「ありがとう」という言葉を残して

「ありがとう」という言葉を残して

「ありがとう」という言葉を残して

Her last words, "Thank you"

19

**残された人たちの悲しみと後悔**

残された人たちの悲しみと後悔

残された人たちの悲しみと後悔

残された人たちの悲しみと後悔

残された人たちの悲しみと後悔

The sadness and regret of those left behind

**原爆の子の像建立へ**  
Building the Children's Peace Monument

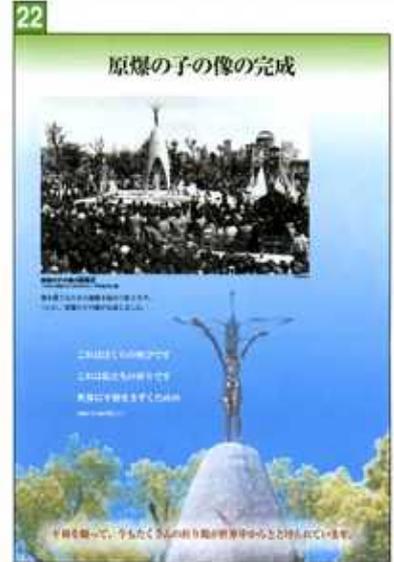
原爆の子の像の建立に向けた子どもたち自身による活動を紹介しています。  
The posters introduce the story of the children who helped construct the Children's Peace Monument.



Something we can do



Let's build a children's peace monument!



Completion of the Children's Peace Monument

**広がるサダコの物語**  
Sadako's story still spreading

世界に広がるサダコに関する本、歌、平和像、平和活動などを紹介しています。  
The posters introduce some of the books, songs, peace statues and peace activities about Sadako worldwide.



Sadako's story in books



Sadako in Songs



"Sadako" world map



From Sadako to you

**【お申込み・お問合せ先】**

広島平和記念資料館 啓発担当  
〒730-0811 広島市中区中島町1番2号  
受付専用電話(082)541-5544  
問合せ電話(082)541-5544・(082)242-7828

**【Contact Information】**

HIROSHIMA PEACE MEMORIAL MUSEUM Outreach Division  
1-2 Nakajima-cho, Naka-ku, Hiroshima City 730-0811 Japan  
FAX 81-82-247-2464  
E-mail : hpcf@pcf.city.hiroshima.jp

**【URL】**

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/peacesite/>

## 編集後記

時が経つのは早いものである。2006年5、6月の第1次・「ブルガリア訪問団」と7月、8月の第2次・「ブルガリア訪問団」を終えて、早や1年の月日が流れた。第2次・訪問団の帰国後から、両訪問団の報告書をまとめる作業を進めてきた。今回、やっと「原爆展編」の編集が終わった。

これまで、とりあえず第1次・訪問団報告書・初版(数10部)や第2次・訪問団・簡略編(1部)、合併改訂版初版(約50部)の3種類を作成。協会関係者や秋葉忠利広島市長に配布した。

今回は、当協会にとって記念すべき「原爆展報告書」なので少し詳しいものを編集しようと取り組んだ。いざ取り掛かってみると、色んな形でお世話になった国内外の方々の顔が浮かんできた。そこで、ご協力、ご支援いただいた方々にコメントを依頼して、寄せられた「声」を全て掲載することにした。

編集は、慣れないエクセルを使用。不慣れのため中々、進まない。嬉しいことに、依頼した方からのコメントが次々と送られてくる。その都度、原稿を順次差し込んできた。作業は、深夜まで及んだ。コメントが増えれば増えるほど、内容が充実してくる。嬉しくなった。今後も引き続いて改訂版を作成する予定。関係者からのコメントを待っている。

報告書の中には、原爆の脅威や被爆者の被害状況などが分かるように右端に各種のデータなどを掲載することにした。今から数年前の記者時代には、ヒロシマ取材に関わってきた。だが、記憶が薄れていて、改めて「原爆とヒロシマ」について再勉強の必要があった。良い機会とばかりにインターネットや関係の本を再読し、やっと編集することができた。

原爆展の陰には、多くの関係者のご協力、ご支援があった。名前(役職は当時)を列記して感謝の意を表したい。

広島市の秋葉忠利市長、山田康助役、浅野達也・秘書課長、松本良徳・国際交流担当課長、荒谷宣昭・観光担当課長ら、広島平和記念資料館の前田耕一郎館長、外和田孝章・前副館長、谷川晃副館長、沖田なつき啓発担当職員、(財)広島平和文化センターの重村孝彦・国際交流・協力課長補佐、西山末平・同前主査、新田智則・同主事。

在ブルガリア日本国大使館の福井宏一郎・特命全権大使、山岸あおい三等書記官、JICAブルガリア事務所の香川敬三所長には並々ならないお世話になった。さらに、外務省の中・東欧課ブルガリア・マケドニア担当の荻野毅・外務事務官には、何かとアドバイスをいただき無事、目的を果たすことができた。

当協会内では、両訪問団に参加していただいた延べ13人に、中でも急ぎよ、参加していただいた被爆者の佐々木愛子理事には感謝してもしきれない。浅野洋二・相談役、渡辺理事などから、その都度、適切なアドバイスを受けた。ブルガリア側とのメール連絡の際には、海生郁子・前会長夫人(英語通訳)と、広島平和記念資料館の沖田なつき様(英訳と連絡)の献身的なご協力をいただいた。このお陰で、連絡がスムーズにできたと深く感謝している。

訪問団実現にご協力いただいた東京のTCI・JAPANの佐々木文徳様と、ブルガリアのSEMA Expressのミハイル・マルコフ社長、神戸利浩様、通訳をしていただいたシルビア・アンドレエヴァ様、ナディア・マルコヴァ様、さらにマリア・ヨトヴァ様の誠意とご尽力を忘れることはできない。いずれにしても、これらのうちの一人でも欠けると、原爆展は今回のように迅速・的確・無事故・成功に運ぶことができなかつた、とつくづく思う今日この頃である。

写真撮影は、ブルガリアでは第1次・訪問団は当協会幹事の坂井紗織・事務局員、第2次はマルコフ社長に、国内関係は事務局の久繁礼子・会計幹事・事務局次長と浜部直樹・事務局員(当時)らに担当していただき、貴重な記録を残すことができたことをご報告し、お礼申し上げます。ありがとうございました。

2007年5月吉日

編集責任者:今村 功

参考文献: 神様がくれた国ブルガリア(愛育社)、東欧の郷愁(新潮社)、地球の歩き方・ブルガリア ルーマニア(ダイヤモンド社)、ブルガリア(ボリナ出版社)、平和と交流(財団法人・広島平和文化センター)、Discover Kazanlak(Tourist Information Centre)、古代とラキアの墳墓(SAKURA PUBLISHING HOUSE)、BUSINESS GUIDE Bulgaria(BULGARIA)、BULGARIA ILLUSTRATED HISTORY(ボリナ出版)、See Bulgaria,その他。

参考HP: 広島平和記念資料館、広島市、その他

ブルガリア共和国 カザンラック市  
第1回・「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展」

2007年5月30日 初版発行

編・著者 今村 功  
撮影 坂井 紗織、ミハイル・マルコフ、久繁 礼子、浜部 直樹、今村 功  
製本 久繁 礼子、佐々木 和子、今村 功  
発行所 ひろしま・ブルガリア協会  
〒739-1743 広島市安佐北区倉掛3-26-2  
e-mail:hba0578@yshoo.co.jp  
郵便振込み先 01340-5-83924 ひろしま・ブルガリア協会  
銀行振込先 広島銀行本店 店番001 3442331 ひろしま・ブルガリア協会

印刷 (株)ライズコーポレーション  
協力 株式会社 中国L.C.C